

150105と畜業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	3	16 ～ 17	工場の牛カット室で側溝の清掃をしていた際、足を踏み外して側溝に左足が落ち、踵を骨折した。	60	1	417	100 ～ 299
2	2019	5	8 ～ 9	業務で使用する包丁を研いで水で洗い流す際に、素手で左手を刃に滑らせたため、薬指の先を負傷した。	45	8	364	30 ～ 49
3	2019	6	7 ～ 8	内臓処理作業場にて、大腸切開機のベルト取り付け作業中、右手親指が刃に触れ、右手親指の第一関節に切傷を負った。	58	8	165	30 ～ 49
4	2019	6	14 ～ 15	と畜解体室にて、と畜後のもも内側の皮を剥く作業中、左側を上にし、ステンレスのローラーコンベアーに載せられて運ばれてきた、豚の左後ろ脚にナイフを入れるために持とうとしたところ、豚が反応して足を動かしたために左手拇指をけられて怪我をした。	53	6	529	30 ～ 49
5	2019	7	14 ～ 15	作業場にて、受付棟へ戻る際、足がふらつき右側に倒れ、脇の下を右肘で打ち、肋骨を打撲した。	42	2	921	30 ～ 49
6	2019	7	9 ～ 10	豚の解体作業中、皮むき前処理の工程で右手に持ったナイフで、誤って左手人差し指を切った（切創防止手袋は着けていた）。	58	8	364	30 ～ 49
			16	作業終了時の清掃中、温水の出るホースを持ってお湯を出したとこ				30

7	2019	7	7 ～ 17	ろ、通常より温度の高い熱湯が出て、右腕に掛かり、火傷した。	47	11	715	～ 49
8	2019	7	15 ～ 16	工場の豚カット室にて豚のバラとモモの間を切り離す作業中、ナイフの柄を握っていた右手が脂で滑り、刃を握ってしまって右手人差し指を負傷した。	28	8	364	～ 299
9	2019	8	13 ～ 14	屠畜場で、豚の尻尾をナイフで切断していた際、誤って左手人差し指にナイフが当たり、伸筋腱を断裂した。	37	8	379	10 ～ 29
10	2019	9	10 ～ 11	1階牛と畜室にて、牛と畜作業のスタンニング工程作業中、通常はノッキングペンの扉を開放すると牛が転がるが、牛が転がらなかったため近寄り引っ張ろうとしたとき、タイミングが悪く牛が転がってきたため、逃げたが間に合わず、右足甲を骨折し負傷した。	26	6	719	50 ～ 99
11	2019	10	10 ～ 11	敷地内にて、牛を誘導する際、牛が暴れ、牛の頭部が右胸部に当たり打撲した。	65	6	911	30 ～ 49
12	2019	10	10 ～ 11	牛の生体を係留するため追い込み中、作業者に向かってきたため、右足親指を踏まれ、骨折した。	52	7	719	30 ～ 49
13	2019	11	15 ～ 16	冷蔵庫内で枝肉出庫の作業をしていた。枝肉を戻す作業のとき、枝肉の前足を引っ張って移動させた際、脂で滑りやすくなっていたため、足が滑って後頭部を強打し打撲した。ヘルメットを着用していなかった。	61	2	611	30 ～ 49
14	2019	11	16 ～ 17	プラッターズパレットを取る際に回転したら、棚の柱に左足の踵が巻き込まれ左足のくるぶしを骨折した。	54	7	222	1～ 9
15	2019	11	9 ～	食肉市場の牛係留所で、牛の生体受付を行う際に牛の角で右手の甲を突かれて、右環指中手骨と右小指中手骨を折った。	48	6	719	30 ～

			10					49
16	2019	11	10 ～ 11	会社作業場にて、牛の皮を牛刀でむいているとき、牛刀の持ち手部分が油で滑り、牛刀の先端部分が左手首に刺さり負傷した。	47	8	364	1～ 9
17	2019	12	10 ～ 11	食肉センター内のカット室で、壁を清掃するために、脚立に上ろうとした際に、脚立の脚の部分が排水溝に落ちて、脚立が傾き、落下してしまい、腰椎横突起骨折を負った。	37	1	371	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。